

こんろ・グリルの火災に注意!

岐阜市消防本部

■火災の事例と対策方法■

1 ■こんろを点火したまま放置・消し忘れて、てんぷら油等が過熱され出火



■対策■

- ちょっとした時間でもその場を離れるときは、必ず火を止める。
- 出かける際に、必ず火の元を確認する。(消し忘れチェック)
- 安全装置付きの機器(※)を使用する。
(※てんぷら油過熱防止装置・消し忘れ自動消火機能など)

2 ■魚焼きグリルを使用中こんろに、グリルや排気ダクトにたまっていた油かすに着火

■対策■

- グリル内をこまめに清掃し、油かす等の可燃物を取り除く。
- 安全装置付きの機器(※)を使用する。
(※異常過熱時の自動消火機能など)



3 ■こんろの上・周囲に置かれていた可燃物に着火



■対策■

- こんろの上・周囲に燃えやすいものを置かない。
カセットこんろや燃料ボンベを置かない。
- こんろの周囲には、安全な距離(※)を確保する。
(※上方100cm以上、前後側面15cm以上)
- 使用時以外は必ず、点火操作ボタンをロックする。

4 ■調理中や物を取ろうとして、こんろの火が衣服に着火、やけどした

■対策■

- こんろ周囲の物を取る場合には、必ず火を止める。
- 服の袖口などが火に近づかないようにする。
- 燃えにくい防災のエプロンや割烹着を使用する。



■もし、火が出てしまったら…！初期消火の方法■

＜てんぷら油火災の場合＞

- 1 こんろの火を止める。(スイッチ停止・元栓閉鎖)
- 2 消火器(油火災対応のもの)で消火する。
(近づき過ぎず、安全な距離を保って消火する。)

※鍋のふたや、濡らしたシーツ等で消火する場合は、油の温度が下がるまで、鍋から取り除かないようにする。

※水をかけるのはやめましょう。炎が大きくなり、油が飛び散る可能性があり大変危険です。

＜衣服に火がついた場合＞

寝転がって火をたたき消す。(やけどする恐れがあるため、手でたたき消さない。)

もし衣服に火がついたら



＜岐阜市消防本部＞

岐阜中消防署 058-262-7165

岐阜北消防署 058-231-5308

山県消防署 0581-22-0119

予防課

岐阜南消防署

瑞穂消防署

本巣消防署

058-262-7163

058-272-2012

058-327-0119

058-324-0119